

人間文化研究機構人間文化研究創発センター研究員（グローバル地域研究推進事業）
募集要領

令和4年2月8日
大学共同利用機関法人人間文化研究機構

大学共同利用機関法人人間文化研究機構（以下「機構」という。）では、令和4年度から人間文化研究創発センター（以下「創発センター」という。）を設置し、ネットワーク型基幹研究プロジェクト「グローバル地域研究推進事業」（以下「事業」という。）を推進します。同事業は機構と各大学・研究機関に設置された研究センター等（以下「研究拠点」という。）を結ぶネットワークを形成し、国内外の研究機関との組織的な連携・協力体制の下に実施されます。

このたび、本事業の研究拠点に配置され、本事業の管理・運営を担当する若手研究者を下記の要領により募集します。

記

○職名	<p>人間文化研究創発センター研究員</p> <p>以下の規則に定める常勤の任期制の職員です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定有期雇用職員規程：国立民族学博物館に配置される者 （ https://www.nihu.jp/sites/default/files/regulation/kh-13.pdf ） ・ 地域研究推進事業に従事する創発センター研究員就業規則：大学に配置される者 （ https://www.nihu.jp/sites/default/files/regulation/kh-7.pdf ※） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 地域研究推進事業に従事する創発センター研究員就業規則は、現在制定手続きを行っており、令和4年3月に機構ウェブサイトに掲載する予定です。 それまでは、現行の「地域研究推進事業に従事する推進センター研究員就業規則」を参照願います。待遇等に変更はありません。</p> </div>							
○採用人員	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%; padding: 5px;">○ グローバル地域研究プログラム総括班</td> <td style="width: 20%; padding: 5px;">1名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">○ グローバル地中海地域研究プロジェクト</td> <td rowspan="4" style="padding: 5px; vertical-align: middle;">左記プロジェクトの研究拠点に各1名（計15名） ※ 研究拠点は以下を参照</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">○ 環インド洋地域研究プロジェクト</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">○ 海域アジア・オセアニア研究プロジェクト</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">○ 東ユーラシア研究プロジェクト</td> </tr> </table>	○ グローバル地域研究プログラム総括班	1名	○ グローバル地中海地域研究プロジェクト	左記プロジェクトの研究拠点に各1名（計15名） ※ 研究拠点は以下を参照	○ 環インド洋地域研究プロジェクト	○ 海域アジア・オセアニア研究プロジェクト	○ 東ユーラシア研究プロジェクト
○ グローバル地域研究プログラム総括班	1名							
○ グローバル地中海地域研究プロジェクト	左記プロジェクトの研究拠点に各1名（計15名） ※ 研究拠点は以下を参照							
○ 環インド洋地域研究プロジェクト								
○ 海域アジア・オセアニア研究プロジェクト								
○ 東ユーラシア研究プロジェクト								
○研究拠点（就業場所）	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル地域研究プログラム総括班 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立民族学博物館 グローバル地域研究プログラム総括班（大阪府吹田市千里万博公園10-1） ○ グローバル地中海地域研究プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル地中海・国立民族学博物館拠点（大阪府吹田市千里万博公園10-1） ・ グローバル地中海・東洋大学アジア文化研究所拠点（東京都文京区白山5-28-20） ・ グローバル地中海・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所拠点（東京都府中市朝日町3-11-1） ・ グローバル地中海・同志社大学拠点（京都市上京区今出川通り烏丸東入） ○ 環インド洋地域研究プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立民族学博物館 環インド洋地域研究拠点（大阪府吹田市千里万博公園10-1） 							

	<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻 環インド洋地域研究拠点（大阪府箕面市船場東3-5-10） ・ 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部研究拠点（東京都目黒区駒場3-8-1） ・ 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 環インド洋地域研究センター研究拠点（京都市左京区吉田本町京都大学本部構内総合研究2号館） <p>○ 海域アジア・オセアニア研究プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立民族学博物館 海域アジア・オセアニア研究拠点（大阪府吹田市千里万博公園10-1） ・ 東洋大学アジア文化研究所 海域アジア・オセアニア研究拠点（東京都文京区白山5-28-20） ・ 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 海域アジア・オセアニア研究拠点（京都市左京区吉田本町京都大学本部構内総合研究2号館） <p>○ 東ユーラシア研究プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北大学 東北アジア研究センター拠点（宮城県仙台市青葉区川内41番地） ・ 国立民族学博物館 東ユーラシア研究拠点（大阪府吹田市千里万博公園10-1） ・ 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター拠点（札幌市北区北9西7） ・ 神戸大学 国際文化学研究推進センター拠点（神戸市灘区鶴甲1-2-1）
○契約期間	<p>令和4年8月1日以降、できるだけ早い時期。 採用日にかかわらず、令和9年3月31日を更新の上限とします。（試用期間なし） ただし、創発センターにおける審査を経て認められた場合は、契約更新（令和10年3月31日まで）を行う可能性があります。</p>
○職務内容	<p>配置された研究拠点において、ネットワーク型基幹研究プロジェクト「グローバル地域研究推進事業」に係る以下の職務を担当する。本事業の詳細については、別添の『グローバル地域研究推進事業基本計画*』を参照願います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事業の企画・運営及び管理に関する業務 ② 事業の遂行に必要な関係機関等との連絡調整に関する業務 ③ 事業に関する成果発信の企画・立案及び運営業務 ④ その他、事業遂行のために必要な業務 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ グローバル地域研究推進事業基本計画は、現在制定手続きを行っておりません。制定手続きの過程で、加筆修正が入る可能性があります。</p> </div>
○応募資格	<p>次のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 博士の学位を取得している者 ② 博士の学位を取得する見込みの者 ③ 人文学又は社会科学の分野にあっては、採用日前日までに、大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上退学した者で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者 ④ 大学共同利用機関又は大学において助教・助手又はこれに準ずる職員としての経歴があり、研究上の能力があると認められる者 ⑤ 配置される研究拠点に関する専攻分野について、優れた知識及び経験を有し、専攻分野の研究者となる資質、能力があると認められる者
○採用条件	<ol style="list-style-type: none"> ① 本事業及び募集の趣旨に沿って、拠点の研究・運営・実務に専念できる者であり、かつグローバル地域研究の拠点形成に必要な研究者となることが期待される者 ② 研究拠点ごとの採用条件は別紙を参照してください。

	<p>※ 応募者の国籍は問わない。ただし、日本語を母語としない場合、業務に支障がない日本語能力を有すること。なお、外国籍の者については、日本国内における活動に制限のない在留資格を有する者、若しくは採用日までには有する見込みの者。</p>
○勤務態様	<p>勤務日、勤務時間は、配置される研究拠点の定めに準じるものとし、1日7時間45分、1週あたり38時間45分の所定勤務時間を基本に、裁量労働制により勤務する。年次有給休暇等有り。</p>
○給与等	<p>・給与は、基本年俸600万円とし、基本年俸の12分の1の額を基本給として毎月支給する。</p> <p>・基本年俸のほか、支給する手当等は、超過勤務手当、休日給及び夜勤手当とする（いずれも職務命令に基づき、勤務した場合に限る。）</p> <p>・給与等については「大学共同利用機関法人人間文化研究機構地域研究推進事業に従事する創発センター研究員就業規則」（https://www.nihu.jp/sites/default/files/regulation/kh-7.pdf ※）第13条による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 地域研究推進事業に従事する創発センター研究員就業規則は、現在制定手続きを行っており、令和4年3月に機構ウェブサイトに掲載する予定です。それまでは、現行の「<u>地域研究推進事業に従事する推進センター研究員就業規則</u>」を参照願います。待遇等に変更はありません。</p> </div>
○保険等	<p>文部科学省共済組合（短期、長期（年金））、雇用保険に加入。労災保険適用。</p> <p>※ 被保険者負担の掛金、保険料を毎月給与から控除する。</p>
○応募書類	<p>①申請書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募鑑文（様式1） ・履歴書（写真貼付）（様式2） ・志望動機及び本事業への貢献について（様式3） ・研究業績一覧表（様式4） <p>※ 申請書（様式1～4）は全て、必ず指定された様式を使用してください。</p> <p>※ 総括班及び各研究プロジェクトによって様式が異なるので、必ず希望する総括班又は各研究プロジェクトの申請書を使用してください。</p> <p>※ 総括班及び各研究プロジェクトを重複して応募することは認めておりません。</p> <p>②主たる研究業績【3点以内】</p> <p>〔注〕提出する研究業績については、様式4「研究業績一覧表」の該当箇所に下線を記入してください。</p> <p>〔個人情報の取り扱い〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①申請書」は返却できませんのでご了承ください。 ・応募書類は選考目的以外には一切使用せず、選考業務終了後、責任を持って処分します。ただし、採用された方の個人情報は、採用後の雇用管理のために利用します。
○応募方法	<p>応募書類全てについて、郵便またはE-mailで、次の応募先に送付してください。</p> <p>※ 応募書類受理後、その記載事項を変更又は補充することは認められません。</p> <p>郵送先：〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構本部事務局センター事務室 E-mail：cti-office@nihu.jp 担 当：長町、松本（連絡先 Tel 03-6402-9244, 9228）</p>

	<p>【郵便の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募書類は、様式番号ごとに両面印刷で作成してください。 ・応募書類「①申請書」は、原本1部、写し3部（A4判）を提出してください。原本については左上欄をクリップで、写しについては左上欄をホチキスで留めてください。 ・応募書類「②主たる研究業績」は、原本または写しを各1部提出してください。冊子でないものについては、左上欄をクリップで留めてください。 ・封筒に「人間文化研究創発センター研究員（グローバル地域研究推進事業担当）応募書類在中」と朱書きのうえ、配達を確認できる方法（簡易書留等）で送付してください。 <p>※ 研究業績は、できるだけ写しを提出してください。研究業績の返却を希望する場合は、返却用の封筒類（切手等貼付すること）を同封してください。</p> <p>【E-mailの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募書類は、様式番号ごとに PDF ファイルで保存し、メール添付にて送付してください。ファイルサイズが大きくメールが送信できない場合は、アップローダー等を利用して送付してください。 ・メールの件名は「人間文化研究創発センター研究員（グローバル地域研究推進事業担当）応募」としてください。 ・応募書類の受理後、3～4日以内に受領確認メールを返信します。返信がない場合は、必ず応募先へ確認してください。
○応募締切	<p>令和4年3月31日（木）15：00（日本時間）必着</p> <p>※ 締切を過ぎて到達した応募書類は、いかなる場合も応募を受け付けません。</p>
○選考方法及び選考結果の通知	<p>・選考方法</p> <p>第1次選考：書類選考</p> <p>第2次選考：面接選考（第1次選考合格者を対象）</p> <p>第2次選考の日時、実施場所は、第1次選考合格者に個別に連絡します。</p> <p>※ 面接のための旅費は支給しません。</p> <p>・選考結果の通知</p> <p>第1次選考の結果は令和4年4月中旬頃、第2次選考の結果は令和4年6月中旬頃に本人に通知する。</p>
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人間文化研究機構の概要については、https://www.nihu.jpをご参照願います。 ・選考結果に関する個別の問い合わせには応じません。 ・応募書類に虚偽があった場合及び人間文化研究創発センター研究員としてふさわしくないと判断される行為があった場合は、採用決定後であっても採用を取り消すことがあります。

○ 採用条件及び第2次選考日時等

(グローバル地域研究プログラム総括班)

研究拠点名	採用条件	備考
国立民族学博物館グローバル地域研究プログラム総括班	<p>次の各条件を満たす者。</p> <p>① 専門領域の研究を生かしつつ、グローバルな相互連関の下での地域に関する学際的研究の推進を目指す者。なお、大学や研究機関等におけるリサーチ・アドミニストレーター (URA) 等の職務に従事し、研究事業の運営経験があることが望ましい。</p> <p>② 日本語、英語にらんで自らの専門とする地域の言語に優れた能力を有し、特定の地域に関する研究または地域間連関に関する研究で一定の研究業績がある者。</p> <p>③ 自分の専門分野・専門地域以外の研究課題についても積極的に関心を持ち、取り組む熱意があることが望ましい。</p>	国立民族学博物館は、館内禁煙(喫煙場所あり)です。

(グローバル地中海地域研究プロジェクト)

研究拠点名	採用条件	備考
グローバル地中海・国立民族学博物館拠点	17世紀以降の地中海を介したグローバルなモノ・人・知識の往来(ヨーロッパ、中東、ラテンアメリカ、アフリカなど)を研究対象とし、地域研究、歴史学・文化人類学・社会学・文学など関連分野を専門とすること。移民や交易、モビリティについて研究関心があることが望ましい。	国立民族学博物館は、館内禁煙(喫煙場所あり)です。
グローバル地中海・東洋大学アジア文化研究所拠点	近現代における地中海の表象/イメージの構築・拡散・伝承・変形につき、地域研究・歴史学・文化人類学・社会学・文学など関連分野を専門とし、地中海沿岸に限定せずグローバルな諸地域の様々な文化(衣食住、宗教、歌舞音楽、芸術、観光、大衆文化、映像文化など)につき研究関心を有していること。	東洋大学は、敷地内禁煙(喫煙場所あり)です。
グローバル地中海・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所拠点	ジャンルを越えた広義の文学・芸能がもたらす、アジアやアフリカ、ヨーロッパなどに広がるグローバルな文明圏間の文化の環流を主たる研究対象とし、文学、歴史学、文化人類学、地域研究などの関連分野を専門とすること。翻訳や多言語状況、特定の言語文化による文明圏や共同体の形成に、研究関心があることが望ましい。	東京外国語大学は、敷地内禁煙(喫煙場所あり)です。
グローバル地中海・同志社大学拠点	グローバルな視点から近現代ヨーロッパ、あるいはその他の地域における国際人口移動/民族問題/排外主義/人種主義/植民地主義を主たる研究領域とし、社会学、歴史学、政治学、人類学、思想史、地域研究などを専門分野とすること。研究関連事務業務も職務に含まれる。	同志社大学は、敷地内禁煙です。

(環インド洋地域研究プロジェクト)

研究拠点名	採用条件	備考
国立民族学博物館環インド洋地域研究拠点	<p>① 日本語、英語について優れたコミュニケーション能力を有する者。</p> <p>② 本研究拠点の掲げるテーマに関する研究で一定の研究業績がある者。なお、関連する現地調査・研究の経験があることが望ましい。</p> <p>③ 専門領域の研究を生かしつつ、国際的な視野を持ち、環</p>	国立民族学博物館は、館内禁煙(喫煙場所あり)です。

	インド洋世界研究の学際的研究についてその推進を目指す者	
大阪大学大学院 人文学研究科外国学専攻 環インド洋地域研究拠点	環インド洋地域（南アジア、東南アジア、アフリカ）における文学を研究対象とし、日本語、英語とともに上記地域の言語に関する優れた運用能力を有し、同地域の文学研究に関する研究業績を有する者。	大阪大学は、敷地内禁煙です。
東京大学大学院 総合文化研究科・教養学部研究拠点	次の各条件を満たす者。 ① 日本語、英語にらんで環インド洋地域に関わる言語に優れた能力を有し、アフリカ・南アジアを中心とする環インド洋地域の文化・社会の研究で一定の研究業績がある者。 ② 専門領域としては、開発・医療・環境に関わる研究に従事し、環インド洋地域の学際的研究の推進を目指す者。 なお、関連する現地調査の経験があることが望ましい。	東京大学は、敷地内禁煙（喫煙場所あり）です。
京都大学環インド洋地域研究センター研究拠点	日本語と英語において優れた能力を有し、環インド洋地域の政治・経済・社会・文化に関して、一定の研究業績のある者。現地調査あるいは留学の経験がある者が望ましい。	京都大学は、敷地内禁煙（喫煙場所あり）です。

(海域アジア・オセアニア研究プロジェクト)

研究拠点名	採用条件	備考
国立民族学博物館 海域アジア・オセアニア研究拠点	① 専門領域の研究を生かしつつ、グローバルな相互連関の下での海域アジア・オセアニアに関する学際的研究の推進を目指す者。 ② 海域アジア（特に東南アジア）、あるいはオセアニアにおける現地調査・研究の経験がある者。 ③ 日本語、英語にらんで自らの専門とする地域の言語に優れた能力を有し、特定の地域に関する研究または地域間連関に関する研究で一定の研究業績がある者。 ④ 自分の専門分野・専門地域以外の研究課題についても積極的に関心を持ち、取り組む熱意がある者。	国立民族学博物館は、館内禁煙（喫煙場所あり）です。
東洋大学アジア文化研究所 海域アジア・オセアニア研究拠点	① 専門領域の研究を生かしつつ、グローバルな相互連関の下での海域アジア・オセアニアに関する学際的研究の推進を目指す者。 ② 海域アジア・オセアニアにおける現地調査・研究の経験がある者。 ③ 日本語、英語にらんで自らの専門とする地域の言語に優れた能力を有し、特定の地域に関する研究または地域間連関に関する研究で一定の研究業績がある者。 ④ 研究プロジェクトに関連する大学院や学部の教育に対しても熱意をもって取り組むことができる者。	東洋大学は、敷地内禁煙（喫煙場所あり）です。
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 海域アジア・オセアニア地域研究拠点	① 専門領域の研究を生かしつつ、グローバルな相互連関の下での海域アジア・オセアニアに関する学際的研究の推進を目指す者。 ② オセアニアあるいは海域アジアにおける現地調査・研究の経験がある者。 ③ 日本語、英語、および日本語・英語を公用語としない地域を自らの専門とする場合は当該地域の言語に優れた能力を有し、特定の地域に関する研究または地域間連関に	京都大学は、敷地内禁煙（喫煙場所あり）です。

	<p>関する研究で一定の研究業績がある者。</p> <p>④ 自分の専門分野・専門地域以外の研究課題や、大学院・学部における教育についても積極的に関心を持ち、取り組む熱意がある者。</p>	
--	--	--

(東ユーラシア研究プロジェクト)

研究拠点名	採用条件	備考
東北大学東北アジア研究センター拠点	<p>東ユーラシアを対象とし、フィールドワークに基づく社会・文化・政治に関わる地域研究を行ってきたことに加え、マリノリティの権利やメディアに関わる研究領域に関心を持つ者。</p> <p>日本語・英語に加えて、東ユーラシアの地域言語に堪能であり、長期にわたる留学・調査経験をもつこと。国際学術交流に携わった経験を有することが望ましい。</p>	東北大学は、敷地内禁煙です。
国立民族学博物館東ユーラシア研究拠点	<p>東ユーラシアを対象とし、フィールドワークに基づく地域研究を行ってきたこと。宗教やサブカルチャーに関わる研究領域に関心を持つ者が望ましい。</p> <p>日本語・英語に加えて、東ユーラシアの地域言語に堪能であり、長期にわたる留学・調査経験をもつこと。国際学術交流に携わった経験を有することが望ましい。</p>	国立民族学博物館は、館内禁煙（喫煙場所あり）です。
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点	<p>東ユーラシア（ロシア・中央アジア・モンゴル・中国）を対象とし、フィールドワークに基づく地域研究を行ってきたこと。人の移動、ジェンダー、宗教、ボーダーなどに関わる研究領域に実績を持ち、ネットワーク型の研究組織間の連携に関わる実務経験を有する者が望ましい。</p> <p>日本語・英語に加えて、東ユーラシアの地域言語（特にロシア語）に堪能であり、留学・調査経験をもつこと。</p>	北海道大学は、敷地内禁煙（喫煙場所あり）です。
神戸大学国際文化学研究推進センター拠点	<p>東ユーラシアを対象とし、フィールドワークに基づく社会・文化・政治に関わる地域研究を行ってきたことに加え、この地域の少子・高齢化、移動・越境などの人口変動がもたらす域内外の社会・文化の変化に関わる研究領域に関心を持つ者。</p> <p>日本語・英語に加えて、東ユーラシアの地域言語に堪能であり、長期にわたる留学・調査経験をもつこと。国際学術交流に携わった経験を有することが望ましい。</p>	神戸大学は、敷地内禁煙です。